

第2回古川西部地区学校教育部会報告書

開催月日	令和2年9月15日(火)午後3時00分～午後4時15分
開催場所	古川西中学校 パソコン室
出席者	<p>●古川西部地区学校教育部会員 10名 古川西中:阿部部会長, 小野寺部会員 西古川小:遠藤部会員, 高橋部会員 東大崎小:千葉部会員, 川嶋部会員 志田小:佐々木部会員, 市川部会員 高倉小:本林部会員, 大場部会員</p> <p>●事務局(教育総務課) 4名 小野松係長, 佐藤主査, 亀ヶ川主事, 大内調査員</p>
概要	<p style="text-align: center;">○部会員 ⇒教育委員会</p> <p>1 開会 2 挨拶 3 第1回学校教育部会の報告(大内調査員)……………資料1</p> <p>(1) 部会長選出 ○古川西中学校の阿部豊彦先生を部会長に選出</p> <p>(2) 協議事項 ①学校教育部会の協議内容について ○学校徴収金について 志田小:現金集金 西古川小:口座振替(郵貯) 東大崎小:口座振替(JA) 高倉小:現金集金 西中:口座振替(JA) ○義務教育学校では9年間使う要録の様式になりますか。また, 小中2枚の要録になりますか。 ⇒閑上小中学校に問い合わせたところ, 9年間使う様式を使用しているそうです。</p> <p>4 協議 (1)伝統芸能の学校教育への取り入れについて……………資料2 ○学校教育で伝統芸能を取り入れることが地域との繋がりをどのようにもっていくのか。たとえば, 後継者の育成に繋がっているのか。そうになると, 伝統芸能をなくすことで地域からの反発が大き</p>

なるだろうと思います。別の形で後継者育成の機会を設けることで、全部なくす方法もあるかと思います。地域に子供たちを返すと考えれば、伝統芸能の継承も地域に委ねることも考えられると思います。(西中:小野寺委員)

○個人的な意見ですが、全部なくすのは寂しいのではないかと思います。(高倉小:大場委員)

○岩出山地区と北部地区の2地区と西部地区を比較すると、学校規模が違うところだと思います。西部には岩出山や長岡のように抜きん出て大きな学校がありません。岩出山では他小学校から来た人たちは岩出山小から来た人たちが演奏するのを見て覚え、今年から全体で行うと聞いていました。一つを選ぶとなると大変難しいと思います。統合後にやりやすい面ややりにくい面が出てくるでしょうし、この話合いで一つ選ぶとなるとしこりが残ったりするのではないかと思います。それで、大変残念ですが、全てなくすという方向しかないかなと思います。(高倉小:本林委員)

○保存会もあるので、保存会の考えも聞いて検討する必要があるのではないかと思います。(東大崎小:川嶋委員)

○一つ選ぶのは難しいと思います。各地区で保存会もあるので、地域に返して保存会や地域で呼び掛けて継承するようにして、教育課程に取り入れなくていいのではないかと思います。

(東大崎小:千葉委員)

○地域との繋がりがいいと思うので、全部なくすよりは何かを残して継承していく方がいいのではないかと思います。

(西古川小:高橋委員)

○どれか一つとなると難しいと思います。独自の太鼓を立ち上げて継承している学校もありますし、岩出山中学校は各小学校で学んできた芸能を練習して政宗公祭りで発表していたということもあります。全部なくすよりは、独自の何か、産みの苦しみはありますが、そういうものがあつたらいいなと思います。(西古川小:遠藤委員)

○残すのは難しいだろうと思います。(志田小:市川委員)

○残すのは難しいだろうと思います。太鼓を使って何かをすとか、何か、特色あるものをつくるのはどうかと思います。

(志田小:佐々木委員)

○残せるのか、残せないのか、というところで御意見を頂戴しました。その中で新規独自のものを創出するという御意見もいただきました。御意見のポイントを確認していきます。伝統芸能は地域との繋がりとこの観点から非常に大切である、という点は共通している点です。伝統芸能をこれ機に地域に返していくという方向性の話もご

ございました。その際にはこれまでお世話になった地域の方々へもきちっと説明していく必要もあるだろうということ。伝統芸能の継承を行わなければ後継者育成の観点からはリスクが生じることになるということ。岩出山地区のように、学校規模の大小が明確な場合は大規模校に吸い込まれていく形もあるのですが、同規模の学校だとそれもないのではないかと、という話もございました。

(西中:阿部部会長)

○新規独自に創出する、ということは分かります。今までは、保存会等の指導があって継承されてきたことを考えますと、新規独自のもを誰が指導をするのか、先生方の負担になるのではないかと思います。と言って、どこかの保存会に指導をお願いするようになれば、その伝統芸能を継承することになってしまい、これも厳しいだろうと思います。(志田小:市川委員)

⇒岩出山小学校の統合の際の話になりますが、池月小学校では池月太鼓が伝統芸能として継承されてきて、その保存会もありましたが、指導はほとんど先生方でした。池月小学校は小規模校なので、先生方の負担が多く大変だった様子を見てきました。池月小に新しく先生が赴任するとすぐに指導に携わることになり、太鼓の指導のためには一から勉強しなければならない状況でした。保存会がある場合には、保存会との繋がりや保存会との関係づくりに学校側は心を配らなければならないと思います。岩出山には岩小太鼓、上野目の神楽、池月太鼓、真山音頭があり、最終的には岩小太鼓に落ち着きました。岩出山小学校出身の子供たちが多く、他校出身の子供たちに教え、子供同士の学び合いができるということで落しどころにしました。地域と学校の関係性を考えると簡単に結論は出ないと思います。4小学校の内3つに保存会があります。そこから一つを選ぶとなると大変難しいのではないかと思います。岩出山中学校の統合の際には、真山中にも伝統のものがあり、一栗中学校には若駒踊りというのがあり、岩出山中にも伝統のものがあったように記憶しています。現在は一栗中学校や真山中学校で行われてきた伝統のものは無くなり、すずめ踊りに統一されて、いろいろな場面で行われているようです。必ず伝統芸能的なものを学校の中で行わなければならないものなのかどうか、その点が悩ましいところだと思います。(小野松係長)

⇒本日の話合いの様子を学校で先生方にお伝えしていただきたいと思います。次回も伝統芸能についての話合いを行いたいと考えています。(大内調査員)

(2)地域との連携(ふるさと教育)について

……………資料3 資料4 色麻学園 閑上小中

○ふるさとについて学び、地元を好きになる子供が育ってほしいと思うのが一番です。地元を根ざす人間ということでは地域の防災を大切にしてほしいと考えています。地域と合同の防災訓練では、中学生がリーダーシップを執って、お互い顔見知りになって、いざというときに活躍してくれればと願っています。また、志田小学区で行っている地区民運動会はすごくいいなと思っています。また、本日の資料で示されている色麻学園の総合で、中学生が色麻町に発信・提言をする活動がありましたが、地域を知らなければできないことで、とてもいいと感じました。さらに、立志式に繋がるキャリア教育が計画されており、いいなと思いました。学年が進むごとに子供たちが地域を知り、地域へ発信したり提案をしたりするように育っていくのは素晴らしいことですし、その点では、学校でどのような子供を育てるのかというビジョンをもとに指導する内容が付いてくるのかと思いました。(西中:小野寺委員)

○話し合いをするための各学校で実践している特色ある地域学習について持ち寄るべきではないかと思います。各地域での歴史に関することやキャリア教育で受け入れられる施設などについて示してもらえると話し合いが円滑に進むだろうと思います。(志田小:市川委員)

○各校の教務の先生が出席していますので、各学校の総合的な学習の時間の内容について簡単に共有したいと思います。まず西中から始めます。多くの行事を整理し、系統的に横断的に繋いでいってまとめました。西中の総合的な学習、特にふるさとに関する学習には3つの柱があります。福祉、防災、キャリアです。既存のものを3つの柱に関連づけてまとめ、1年生から3年生へ学年としてどのように繋がっていくのかを整理しました。例えばキャリアであれば修学旅行に関連付け、2年生の立志式をどのようにキャリアに結びつけるか、防災には各学年で活動内容が決まっています。福祉は楽々楽館への訪問や委員会活動に絡めながら活動を行っています。このように、3つの柱に整理して活動しているのが西中の総合学習です。(西中:阿部部会長)

○3年生が地域、4年生が福祉、5年生が環境、6年生が自分再発見。これらに加え、学年ごとに畑で野菜を栽培して、お世話になった方々を呼んでその野菜を入れた豚汁を食べる活動をしています。西中学区小中学校で実践しているふるさと教育の内容をチョイスして新たにふるさと教育の内容を作るのは、無理ではないかと思います。色麻学園は色麻町に一つの学校なので“色麻”ということでは捉え易いと思いますが、ここは、西中学区ではありますが、それ以外の呼び名があるのかどうか。地域の方々、子供たち、私たちも含めて、この地域を一つにまとめるということを意識しているかどうか。色麻のように簡単にはいかないのではないかと思います。志田地区の学習、高倉地区の学習をすることも、指導計画を作成するのはかなり困難を極めるのではないかと思います。理想は色麻のものかとは思いますが、西部地区はどのようにまとめていくかについ

て考えていきたいと思います。(高倉小:本林委員)

○東大崎小は大きく2つのテーマがあります。福祉と地域です。福祉については3年生が目の不自由な人4年生が耳の不自由な人、5年生はお年寄り、6年生は肢体不自由と自分たちにできることについて学びます。地域については特に東大崎に特化した内容ではありません。3年生では地域の自慢探しをしようという内容で、例えば米、大豆、学校周辺の生き物等について調べる活動です。4年生は、家族と自分との繋がりを1/2成人式に位置づけています。5年生は東大崎の食を調べ体験する内容で、地域の人に教えてもらいながらバケツ稲づくりを行ったり、大豆づくりを行ったり、そして収穫した大豆で豆腐をつくる活動を地域の方々に教えてもらいながら行っています。6年生になって、大崎耕土、名生館官衙遺跡の歴史について、それに加えて新田囃子も入れています。テーマを設けて学習することもいいのではないかと考えます。(東大崎小:千葉委員)

○伝統と地域に分けて活動を行っています。3年生は大豆を育て食べるころまで1年間を通して活動します。近くに太子食品もありますので豆腐になる過程を見学したり、大豆センターでいろいろな大豆について見学したりします。4年生は、西古川小学校周辺に寺社が多いことから、そこに行って話を聞く活動を行っています。伝統ということでは全学年で保柳神楽を踊っています。5年生は農業試験場です。米作りについて学習します。6年生は主に福祉を取り上げて学習します。楽々楽館におじゃまして交流をします。(西古川小:遠藤委員)

○地域の方々、地域素材をもとに学習しています。学校の近くを流れる渋川を素材に環境について学びます。もう一つは福祉教育、3・4年生です。5年生になると、地元の産業である農業、米作りについて調べていきます。地域の方々に教えてもらいながら体験をします。6年生になると他の地域に出かけて地元を見直す活動を行います。修学旅行で自主研修をしたこと、見聞したこと、地元の様子とを比べて考える活動を行います。6年生は総合で獅子舞体験もあります。(志田小:佐々木委員)

○どの学校も伝統芸能や地域というカテゴリーがあるようですが、大きなテーマを設けて活動していることが分かったと思います。これが統合したときに、各学年でどういうテーマを設けて、9年生まで繋がっていくのか、ということを考えていかなければなりません。(西中:阿部部会長)

⇒ありがとうございました。今現在、各校で実践している内容を整理して、統合後のふるさと教育についてどのように考えられるのかについて準備して、次回に提示できるようにします。後日、総合の指導計画について推進室に送っていただくようにメールで連絡を各校に入れますのでよろしくお願い致します。

(3)学校備品の整理と移動について……………資料5

○使えそうな備品についてですが、例えば、ねじ1本なくても使えればいいのか、使えないものに分類するべきか。教材備品については少々のことでも使えると思いますが、一般備品についてはどうなるのか、判断に迷うところがあると思います。引き出しの取っ手が一つだけない、鍵が掛からない、高さ調整のアジャスターが機能しない、そういうものを使える備品としていいのか、共通理解がないと難しいのかなと思います。(志田小:市川委員)

⇒使えそうな備品として、備考欄に欠陥部分について記入していただき、問題ないものが多くあればそれを使い、問題のあるものが多ければそのとき考えるようにすればどうでしょうか。(大内調査員)

○必要な備品の数より若干多く集めて、その中で調整することも可能だろうと思いますが、全ての備品で同様の措置を執るとなると難しいのではないかと思います。違う話になりますが、校長室の机を準備するとして、両袖の机は西中学区に4台は確実にあります。でも使うのは一つでいいわけなので、一つ選べば済みます。後は、金庫などはどうしますか。(志田小:市川委員)

⇒必要な分を運ぶようになると思います。岩出山の場合は岩出山小学校にある金庫を使い、それ以外の金庫は一つだけ運び入れました。それで間に合うということでした。数量の見極めは相談をしてからだとは思いますが。(小野松係長)

○そうなると校舎図面を確認してどこに置くか、ということも考えなければならぬと思います。(志田小:市川委員)

○各学校に金庫がありますが、そこから抜き出すことができるものがなければ全ての金庫を運び入れるしかないと思います。金庫に格納するものは増えていく一方ですから新しくキャビネットを購入することも出てくるだろうと思います。(西中:小野寺委員)

⇒捨てられるものはこの際捨ててきていただきたいと思います。(大内調査員)

○保存期間が切れていないものは箱に入れて運ばなければならないでしょう。そうなれば、それらを入れておく倉庫等も必要になると思います。(志田小:市川委員)

○移動する備品が決まった段階で、不足する備品については翌年4月までには購入してもらえますか。(志田小:市川委員)

⇒間に合うようにします。(小野松係長)

⇒先生方からの疑問や課題について、小野寺先生に電話でお聞きしながら対応策を準備していきたいと思います。(大内調査員)

○夏に備品整理ができなかったので、何から手を付けていいのかわからない状況です。教えていただきたいと思います。

(西古川小:遠藤委員)

⇒捨てられるものはどんどん捨てていただきたいと思います。捨てるものが出てきたら、クリーンセンターへものを搬入し、教育委員会で各校に配布している許可証を使用していただき、無料で捨てるのが可能です。市のトラックも貸し出し可能ですし予約もできます。また、もう少し時間がたったところで、段ボールの現物を支給したいと思います。(大内調査員)

○かつて経験した学校統合の際は保存年限内の文書は全て統合校に搬入し、保存年限が来たら段ボールのまま廃棄する措置を執りました。(西中:小野寺先生)

(4)義務教育学校について……………行事予定 主な行事

○10月16日に閑上小中学校に視察に行く計画があります。先生方にはその1週間くらい前までに義務教育学校に関する疑問、課題等について推進室までお寄せいただきたいと思います。(大内調査員)

(5)その他

○校舎の増築部分はどうなるのでしょうか。3つから選ぶのでしょうか。(志田小:市川委員)

⇒こういう増築が考えられる、ということでの提案です。担当レベルで考えてきたものですが、この増築案に関して保護者の声を聞く機会が十分ではなかったため、今後その時間をとるようにしたいと考えています。今後、教頭先生が参加する総務部会で話し合う予定です。(小野松係長)

5 その他

次回第3回学校教育部会は 10月28日(水)午後3時より古川西中学校で開催予定。次回は途中から事務の先生方は別室で行う予定

6 閉会